

各位

会社名 株式会社ソフィアホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 飯塚 秀毅
 (コード番号 6942 東証スタンダード)
 問い合わせ先 取締役兼 管理部ゼネラルマネージャー
 佐藤 元彦
 (TEL: 045-548-6205)

国際財務報告基準（IFRS）の任意適用に関するお知らせ

当社グループでは、インターネット関連事業・通信事業においては、「たえずお客様のニーズを先取りし、先進的なICTサービスを提供することで社会貢献する」ことを目指すとともに、調剤薬局及びその周辺事業においては「調剤薬局を通じて、地域に根差した明るい未来をサポートする」ことを目指しております。さらに、この事業を有機的に結合させてグループシナジーを創出することにより企業価値の最大化を図ることを中長期のグループ戦略としており、かかる戦略の下で、売上・利益の拡大や事業展開の加速化を目的として、M&Aやアライアンスを活用することで、新規事業の開拓や事業領域の拡大に取り組んでおりますが、この取り組みに当たっては、財務強化の方針とのバランスの考慮をしながら進めていくべきであると認識しております。

そこで、当社は、今後のM&Aやアライアンスを活用することで新規事業の開拓や事業領域の拡大への取り組みを進めていくあたり、2025年1月29日開催の取締役会において、買収先の「のれん」の一部が償却対象外となりキャッシュフロー実態と会計上の利益との乖離を減少させることにより当社グループにおけるキャッシュフロー経営の透明性の向上を図るとともに資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上や開示の充実等を目的として、2025年3月期決算から連結財務諸表及び連結計算書類について、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（以下、IFRS）を任意適用することを決議いたしましたので、お知らせいたします。今回の任意適用により、今後は、短期的にはシナジー効果が最大化されなくても、中長期的な視点で企業価値の向上が期待できるM&A案件についても積極的に推進することができ、株主利益の最大化に資すると認識しております。

1. IFRSの任意適用に伴う開示スケジュール（予定）

決算期	開示資料		適用会計基準
2025年3月期	第3四半期	四半期決算短信	日本基準
	期末	決算短信 会社法連結計算書類 有価証券報告書	
2026年3月期	第1四半期	四半期決算短信	IFRS
	第2四半期	四半期決算短信 半期報告書	
	第3四半期	四半期決算短信	
	期末	決算短信 会社法連結計算書類 有価証券報告書	

2. 2025年3月期通期連結業績予想におけるIFRS適用後の影響額

2024年11月27日に「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」として公表いたしました2025年3月期通期連結業績予想におけるIFRS適用後の影響額は以下の通りです。

（単位：百万円）

	通期連結業績予想値 (日本基準)	通期連結業績予想値 (IFRS適用後)	IFRS適用に伴う影響額
売上高	8,396	8,396	—
営業利益	54	415	361

※ IFRS適用後の営業利益が361百万円増加する要因については、主に日本基準では定期償却していたのれん償却が非定期償却になったこと等の理由によるものです。

以 上